

6月17日(木) S1発表時間(9:20~10:35) S2発表時間(12:35~13:50) S3発表時間(15:45~17:00)
 特別講演(14:55~15:40)

S1	講演題目	発表者・共同執筆者
S1-1	色彩値を用いた溶出量の基礎検討	○今田 真治、磯野 陽子、嶋 将志、木村 隆行(エイト日本技術開発)
S1-2	海成堆積物試料からの重金属の溶出挙動	○増田 俊介、小川 泰正、須藤 孝一、井上 千弘(東北大学)
S1-3	鉛汚染土壌の洗浄処理について	○吉 俊輔、友口 勝(DOWAエコシステム)
S1-4	酸化鉄系重金属不溶化材の不溶化性能について	○大澤 誠司、今村 敏、畑中 恒孝(石原産業)
S1-5	重金属等不溶化処理と混合・攪拌効果の検討	○設楽 和彦、稲田 ゆかり、中島 邦将、宮永 誠、平澤 卓也、田澤龍三(清水建設)
S1-6	最終処分された廃棄物からの有害元素溶出特性に対するpHおよび固液比の影響	○竹下 恭平、山岡 祐太郎、所 千晴(早稲田大学)、川上 智(DOWAエコシステム)
S1-7	カドミウムや鉛等の重金属類の土壌からの溶出速度	○小林 剛、劉 予宇、浦野 紘平(横浜国立大学)
S1-8	CRTガラスからの重金属類の溶出挙動に及ぼすpHの影響	○杉田 創、井本 由香利、山下 勝(産業技術総合研究所)、肴倉宏史(国立環境研究所)、赤井 智子、駒井 武(産業技術総合研究所)
S1-9	海外における複合VOCs汚染土壌・地下水対策の事例報告(その1)	○篠原 誠、岸 正博、草野 博幸、椎根 大、永井 宏征(AGCエンジニアリング)
S1-10	無機土壌汚染物質の迅速前処理方法の検討	○清水 優子、浦野 真弥(環境資源システム総合研究所)、浦野 紘平(横浜国立大学)
S1-11	Dehalococcoides属細菌を利用したバイオオーグメンテーションの実用化に向けた検討	○奥津 徳也、田村 渉、水本 正浩、石田 浩昭、上野 俊洋、飯泉 太郎(栗田工業)
S1-12	栄養塩を用いたジクロロメタンの微生物分解	○晴山 渉、佐々木 秋、中澤 廣(岩手大学)、山口 重徳、シュリハリ チャンドラガトギ(エコサイクル)
S1-13	生物分解処理を用いたVOC汚染地下水の流出防止技術	○竹崎 聡、西田 憲司、峠 和男(大林組)
S1-14	嫌気ベンゼン分解菌DN11株を用いたバイオレメディエーションの基礎的検討	○高畑 陽、片山 美津瑠(大成建設)、笠井 由紀(北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所)
S1-15	地中挿入型装置のVOC汚染浄化への適用	○石井 六夢、坂井 敬一、渡辺 哲哉、金子 諒子(JFEミネラル)
S1-16	操業中の事業所における汚染拡散防止対策事例	○渡辺 綾子、小菅 誠一、上野 修一郎(ドリコ)、中丸 純平(日本ガス機器検査協会)
S1-17	CE/MSを用いた好氣的芳香族代謝産物の測定と地下水・土壌汚染への適用	○西塚 一茂(慶應義塾大学先端生命科学研究所、山形県庄内総合支庁)、平山 明由、曾我 朋義、中東 憲治(慶應義塾大学先端生命科学研究所)、辻 浩子、大岩 敏男(山形県環境科学研究センター)
S1-18	リスク評価モデルにおける我が国の建物構造を考慮した室内空気経路の曝露	○伊貝 聡司、村上 淑子、(土壌環境センター リスク評価活用方法検討部会)
S1-19	土壌中の有害物質が与える植物生育反応を指標とした評価手法に関する基礎実験	○土路生 修三、菅野 裕一、佐々木 静郎、村上 順也、門倉 伸行(熊谷組)、飯島 健太郎(桐蔭横浜大学)
S1-20	生石灰混合処理法の課題に対する取り組み	○中川 勇樹(日立建機)、平川 貴也(東北大学、現・DOWAエコシステム)、橋本 久儀(日立建機)、須藤 孝一、井上 千弘(東北大学)
S1-21	油汚染浄化手法に関する基礎的検討	○君塚 健一、吉田 浄、吉岡 成康、海老原 孝、新開 洋介(三菱ガス化学)
S1-22	界面活性剤を用いた油含有土壌のオンサイト型洗浄工法の開発	○戸成 博、大橋 貴志(NIPPO)、吉本 直弘、長尾 正基(新日本石油)、染矢 慶太(ライオン)、渡辺 徹(NIPPO)

S1-23	ガンソリスタンドにおける原位置バイオレメディエーション	○蜜澤 真治、佐野 康臣、石井 六夢、坂井 敬一(JFEミネラル)
S1-24	IPTD(In-Pile Thermal Desorption/Destruction)法によるダイオキシン類汚染土壌の浄化	○依 一生、ブラーツ 初枝(日本シーガテック)、小寺 秀則(環境技術支援ネットワーク)、伊藤洋(北九州市立大学)
S1-25	微粉末活性炭シート及び錠剤による土壌・水の浄化手法の開発	○股 照洙、馬場 浩司(農業環境技術研究所)、柴田 康行(国立環境研究所)、佐々木 裕子(元・東京都環境科学研究所)、福井博章、飯泉 恵美子(東京シンコー)
S2	講演題目	発表者・共同執筆者
S2-1	地下水調査・対策の考え方に関する調査結果について	○穴戸 丈暢、北岡 幸、川端 淳一、地下水調査・対策の考え方検討部会(土壌環境センター)
S2-2	放電プラズマを用いた汚水処理装置の開発	○高橋 克幸(シンド静電気、岩手大学)、米澤 彩子、高木 浩一、颯田 尚哉(岩手大学)
S2-3	わが国におけるリスク評価モデル(案)の計算式	○福浦 清、奥田 信康、伊貝 聡司、リスク評価活用方法検討部会(土壌環境センター)
S2-4	土壌汚染の掘削除去に伴う外部環境負荷の推計-日本の平成17年度を対象とした試算例-	○保高 徹生、馬場 陽子(国際環境ソリューションズ)、伊藤 洋、松本 亨(北九州市立大学)
S2-5	廃棄物埋設サイトにおける調査・対策事例のとりまとめについて	○糸永 真吾、笹木 弘、廃棄物埋設サイト事例研究部会(土壌環境センター)
S2-6	植物による重金属等の土壌汚染物質の除去作用とその効果を指標とする生育反応に関する研究	○菅野 裕一、涌井 史郎(桐蔭横浜大学)、内藤 敏、堀川 朗彦(熊谷組)、森永 茂生、飯島 健太郎(桐蔭横浜大学)
S2-7	自然的原因によるヒ素汚染土壌の不溶化事例	○福武 健一、井出 一貴、日笠山 徹巳(大林組)
S2-8	アンチモン不溶化処理技術に関する基礎的検討	○大山 将(鴻池組)
S2-9	浄化用鉄粉による重金属除去効果	○古田 智之、吉川 英一郎(神戸製鋼所)
S2-10	グラフト吸着材を用いた重金属汚染水の浄化	○十朱 偉清、伊藤 紀与人、片岡 昌裕(NIPPO)、須郷 高信(環境浄化研究所)
S2-11	携帯型分析器による土壌中の砒素・鉛等の分析—ボルタンメトリ法の適用	○藤川 陽子(京都大学)、米田 大輔、大谷 直生、菅原 正孝、濱崎 竜英(大阪産業大学)、ポール ルータス(Cogent Environmental)
S2-12	土壌中砒素の簡易抽出法の検討	○鮎川 和泰、管原 庄吾(島根大学)、ポール ルータス(Cogent Environmental・Edith Cowan University)、清家 泰(島根大学)
S2-13	無機汚染物質の迅速分析法の適用可能性の評価と拡大	○浦野 真弥、宇野 恵、清水 優子(環境資源システム総合研究所)、浦野 紘平(横浜国立大学)
S2-14	二種類のDNAマーカーによるシアン化合物分解菌の検出・モニタリング法の開発	○片山 美津瑠、高畑 陽(大成建設)
S2-15	植物油を主成分とする栄養剤を用いた嫌気性バイオレメディエーションに関する基礎的検討	○奥津 徳也、大谷 高広、石田 浩昭、飯泉 太郎(栗田工業)
S2-16	バイオスティミュレーション法に与えるpHの影響について	○清水 泰貴、上田 剛、鈴木 圭一、安藤 卓也、伊藤 善孝(パナソニック環境エンジニアリング)
S2-17	過硫酸塩を用いた酸化分解促進法の基礎的研究	○野本 岳志(オルガノ)、田熊 康秀、阿部 直人(環境テクノ)、江口 正浩(オルガノ)
S2-18	水中プラズマを用いたジクロロメタン分解に関する基礎的検討	○米澤 彩子(岩手大学)、高橋 克幸(シンド静電気)、颯田 尚哉、高木 浩一(岩手大学)
S2-19	地盤表層CO2ガスモニタリングによる簡易油汚染土壌調査技術の実証例	○田崎 雅晴、岡村 和夫、黒岩 洋一(清水建設)
S2-20	界面活性剤とウェルポイントによる油汚染地盤の非掘削浄化	○林 雅人、窪田 豪人、棚橋 秀行(大同大学)
S2-21	東京湾海水から分離した鉱物油分解菌フローラの特性	○鈴木 誠治、佐藤 徹朗(国際環境ソリューションズ)、高安 那津季、今田 千秋、小林 武志、濱田(佐藤)奈保子(東京海洋大学)

S2-22	Microbial Consortium that Degrades Aromatic Hydrocarbons faster than Aliphatic Hydrocarbons in Mineral Oil	○Hernando Bacosa、Koichi Suto、Chihiro Inoue (Tohoku University)
S2-23	化学酸化技術としてのアルカリ活性化・過硫酸法の適用性	○大澤 武彦(アイ・エス・ソリューション)、角田 真之(ランドコンシェルジュ)、西村 実(アイ・エス・ソリューション)
S2-24	TPH定量分析の前処理方法の検討	○北川 聡、丸山 智代、田中 美記子、久保田 雅美(エス・ブイ・シー東京)
S2-25	土壌・底質中のダイオキシン類迅速分析方法の開発	○吉実 年正、長濱 剛、神津 勝信、岡田 孝幸(太平洋コンサルタント)
S3	講演題目	発表者・共同執筆者
S3-1	高密度電気探査を併用した埋設物調査事例	○小菅 誠一、上野 修一郎、渡辺 綾子(ドリコ)、中丸 純平(日本ガス機器検査協会)
S3-2	硫黄カルシウム材を用いた透過性浄化壁窒素除去性能の評価	○高木 敏彦、今安 英一郎(新日鉄エンジニアリング)、下岡 敏雄(日鉄環境エンジニアリング)、李 盛源、服部 雄太、南 芳貴(筑波大学)
S3-3	土壌汚染対策におけるリスク評価手法の活用に関する検討	○白井 昌洋、和知 剛、伊藤 豊、リスク評価活用方法検討部会(土壌環境センター)
S3-4	大阪市における土壌汚染調査・対策の状況に関する一考察	○保岡 和幸(大阪市環境局)
S3-5	砂充填カラム内でのカオリナイト粒子の剥離に対する吸着フミン酸の影響	○白鳥 克哉、足立 泰久(筑波大学)
S3-6	5地点均等混合法と汚染土壌捕捉率の検討	○前田 健太郎、上田 剛、鈴木 圭一、伊藤 善孝(パナソニック環境エンジニアリング)
S3-7	微生物を利用した汚染土からの六価クロム溶出低減効果	○大嶺 聖、安福 規之、小林 泰三、田村 和也(九州大学)
S3-8	無機材料に対するアンチモンの吸着特性	○中村 謙吾、米田 稔(京都大学)、颯田 尚哉、松浦 多希(岩手大学)
S3-9	自然由来重金属類基準超過粘性土のセメント粒状化処理に伴う不溶化効果の確認	○高井 敦史、菱川 絢子、山川 昭次(竹中工務店)、森 桂一、小西 一生、小嶋 平三(竹中土木)
S3-10	ふっ素汚染土壌の原位置洗浄に関する検討	○上野 俊洋、橋本 正憲(栗田工業)、今安 英一郎(新日鉄エンジニアリング)
S3-11	可搬型蛍光X線透視分析装置とストリッピングポルタンメトリーを用いた自然起源の砒素の現場分析	○丸茂 克美(産業技術総合研究所)、小野 雅弘(住鉱コンサルタント)、斯波 裕之(北斗電工)、小野木 有佳(産業技術総合研究所)
S3-12	エネルギー分散型蛍光X線装置による地球化学試料中の微量元素の同時分析	○山崎 慎一(東北大学)、松波 寿弥(畜産草地研究所)、小川 泰正、土屋 範芳(東北大学)
S3-13	地球化学的手法による揮発性有機塩素化合物の地下水における微生物分解の評価	○斎藤 健志(筑波大学)、中島 誠(国際環境ソリューションズ)、田瀬 則雄、辻村 真貴、丸岡 照幸(筑波大学)、荒川 貴之(国際環境ソリューションズ)
S3-14	複合VOCs汚染サイトにおけるバイオスティミュレーションの検討	○椎根 大、篠原 誠、永井 宏征、岸 正博(AGCエンジニアリング)
S3-15	過硫酸塩を用いた土壌地下水浄化技術の現場適用に向けた検討	○星野 隆行、飯泉 太郎、上野 俊洋(栗田工業)
S3-16	バイオスティミュレーションによるVOCs汚染土壌の浄化事例	○中條 邦英、北岡 幸、近藤 晋、青山 正信、沼野 浩祐(応用地質)
S3-17	経年変化した浄化用鉄粉の脱塩素反応性回復手法について	○太田 綾子、根岸 昌範、深澤 道子、岩崎 広江、樋口 雄一(大成建設)
S3-18	水位変動を伴う砂礫中のガソリンの含有・揮発について	○細谷 貴、野田 典広、中島 敬祐、打木 弘一(基礎地盤コンサルタンツ)
S3-19	生石灰の混合による重質油汚染土壌の臭気低減処理	○田中 宏幸、永塚 典幸、保賀 康史(鴻池組)、木曾 伸一、佐藤 健太(NEXCO東日本)、平田 健正(和歌山大学)
S3-20	砂ろ過によるエマルジョン化した油分の排水処理	○永瀬 弘喜、菊地 達也(DOWAエコシステム)

S3-21	微細気泡を利用した原位置浄化技術の検討	○藤城 春雄、稲田 ゆかり、田崎 雅晴(清水建設)
S3-22	油汚染土壌の標準臭気強度試料を用いた官能評価結果	○重岡 久美子、岩崎 好陽、中辻 康(におい・かおり環境協会)
S3-23	産業廃棄物不法投棄現場西側周辺における環境水中のハロゲン酸化物濃度	○颯田 尚哉、千葉 和佳子、滝口 直樹、米澤 彩子、川向 有希子、立石 貴浩(岩手大学)
S3-24	シアン汚染浄化手法に関する基礎的検討	○吉岡 成康、吉田 浄、君塚 健一、海老原 孝、新開 洋介(三菱ガス化学)
S3-25	「埋め戻し土壌の品質管理指針」の普及状況について(その2)	○有山 元茂、田澤 龍三、日笠山 徹巳、青木 鉦二、相澤 晃、藤原 和昭、(土壌環境センター 技術標準検討部会)

6月18日(金) S4発表時間(9:00~10:30) S5発表時間(13:25~14:55) S6発表時間(16:00~17:15)
特別講演(12:30~13:20)

S4	講演題目	発表者・共同執筆者
S4-1	土壌汚染の調査・対策現場で生じる不具合事例の収集とその活用法の検討	○渡部 貴史、山澤 哲、足立 吉宏、中館 健、富田 誠(土壌環境センター 技術者向け現場管理ハンドブック部会)
S4-2	土壌汚染に関する情報提供のあり方について	○中村 直器、村上 淑子 (イー・アール・エス)
S4-3	複数の土壌調査地内における土壌pHと鉛溶出量の違い	○大橋 優子(応用地質)、亀屋 隆志、小林 剛(横浜国立大学)、沼野 浩祐、青山 正信(応用地質)
S4-4	新しい盛土構造による重金属汚染土壌浄化に関する基礎実験	○大石 徹(日鉄環境エンジニアリング)、伊藤 洋、門上 希和夫(北九州市立大学)、鈴木 和義(日鉄環境エンジニアリング)
S4-5	有機酸を用いた重金属汚染土壌の現位置浄化に関する基礎実験Ⅴ	○兵道 英男(九州テクニサーチ)、伊藤 洋、門上 希和夫(北九州市立大学)、大川 清和(九州テクニサーチ)、宮崎 照美(日鉄環境エンジニアリング)
S4-6	帯水層におけるソイルベントナイト地中連続遮水壁の地震時挙動	○乾 徹、栗原 太志、勝見 武(京都大学)、嘉門 雅史(香川高等専門学校)、荒木 進(ライト工業)
S4-7	重金属汚染地盤の原位置通水洗浄工法による浄化	○佐藤 祐輔、西田 憲司、峠 和男(大林組)
S4-8	バイオレメディエーションによるシアン化合物の土壌・地下水対策	○西原 光一、川上 嘉充(新日本グラウト工業)、背黒 要、小楠 元久(三井住友建設)、シュリハリ チャンドラガトギ、松田 芳隆(エコサイクル)
S4-9	電子顕微鏡・蛍光X線装置を用いた鉛汚染源の解明	○高階 義大(洛菱テクニカ)
S4-10	「硫酸・消石灰添加溶出試験法(GEPC-TS-02)」の運用状況	○王 寧、大山 将、片岡 昌裕、篠原 隆明、秦 浩司、三浦 俊彦(土壌環境センター 技術標準検討部会 不溶化ワーキンググループ)
S4-11	地下水揚水を併用した原位置封じ込めによる汚染の拡散防止	○江種 伸之、姜 学妍(和歌山大学)、峠 和男、西田 憲司(大林組)、平田 建正(和歌山大学)
S4-12	カラム通水試験によるCRTガラスからの元素溶出	○井本 由香利、杉田 創、山下 勝、赤井 智子、駒井 武(産業技術総合研究所)、肴倉 宏史(国立環境研究所)
S4-13	高濃度汚染が存在した操業中工場における薬剤注入微生物浄化工事の事例紹介	○大島 穰(荏原工業洗浄)
S4-14	過硫酸塩を用いた1,4-ジオキサン汚染地下水の原位置処理法の検討	○榎本 幹司、星野 隆行、上野 俊洋(栗田工業)
S4-15	1,2-ジクロロエタン含有地下水の鉄粉による処理検討	○横山 圭一、鎌田 雅美、間瀬 貴久、岡田 健一、上原 大志(DOWAエコシステム)
S4-16	酸化鉄系VOCs分解材のVOCs分解性能に与える因子について	○平井 恭正、伊藤 直也、畑中 恒孝(石原産業)
S4-17	高濃度硫酸イオン下における嫌気微生物群集によるTCEの脱塩素挙動	○伊勢 孝太郎(東北大学)、シュリハリ・チャンドラガトギ(エコサイクル)、須藤 孝一、井上 千弘(東北大学)

S4-18	不法投棄現場に生息するVOC分解微生物群の特徴 -バイオスティミュレーションのため-	○島津 明寛、チナルグリ イミティ、晴山 渉、中澤 廣(岩手大学)
S4-19	深部のベンゼン汚染帯水層を対象とした注水バイオスパーキング浄化事例	○大石 雅也(大成建設)、桐山 久、安井 利尚(東邦ガス)、有山 元茂、高畑 陽、池上 和広(大成建設)
S4-20	不法投棄現場等を対象とした発生ガスの分解・除去技術の性能評価	○小澤 一喜、間宮 尚、川端 淳一(鹿島建設)、大庭 靖貴(東京工業大学)
S4-21	油含有土壌の微生物浄化に関するカラム試験による適用性評価	○野田 典広、細谷 貴、打木 弘一(基礎地盤コンサルタンツ)
S4-22	地下水油分回収装置を用いた油汚染対策事例	○永田 公俊、田熊 康秀(環境テクノ)
S4-23	油含有土壌のバイオレメディエーション促進方法について	○大橋 貴志、宮崎 孝平、二川 往昌(NIPPO)、伊藤 信、野口 啓(中央開発)
S4-24	油汚染調査・対策における油臭判定の定量化のための検討	○中島 誠、松下 孝(土壌環境センター)、岩崎 好陽、重岡 久美子(におい・かおり環境協会)
S4-25	油分濃度と油臭に関する一考察	○鈴木 圭一、安藤 卓也、清水 章彦、伊藤 善孝(パナソニック環境エンジニアリング)
S4-26	遺跡発掘調査と汚染土壌除去作業の同時実施事例	○下池 季樹(国際環境ソリューションズ)
S4-27	化学物質の土壌汚染による多様な曝露シナリオのスクリーニング手法の検討	○山田 尚弘、酒井 実、小林 剛、三宅 祐一、亀屋 隆志(横浜国立大学)
S4-28	化学物質管理から見た土壌環境汚染対策・防止のありかたについて ~事前リスク評価の比較と提言~	○長谷 恵美子(住化分析センター、明治大学)、大悟法 弘充(住化分析センター)、北野 大(明治大学)、川辺 能成、駒井 武(産業技術総合研究所)
S4-29	「油に対するオンサイト分析」および「自然的原因による重金属等含有土壌の調査・対策」に関する現状と課題	○門倉 伸行、打木 弘一(土壌環境センター実態把握調査部会 自然的原因ワーキンググループ)、宍戸 丈暢、松下 孝(同 油オンサイト分析ワーキンググループ)
S4-30	汚染土壌からの重金属等の溶出挙動に関する調査	○篠原隆明、橋本正憲(栗田工業)
S5	講演題目	発表者・共同執筆者
S5-1	シアン汚染地下水・土壌の原位置浄化方法	○今安 英一郎、渋谷 正宏、福永 和久、高木 敏彦、武藤 弘(新日鉄エンジニアリング)
S5-2	砒素汚染土の不溶化に及ぼす影響因子 -土壌資材によるAs吸着メカニズムの評価-	○宇智田 奈津代(環境研究センター)、谷 茂(農村工学研究所)、上原 誠一郎(九州大学)、窪田 洋司(東京ソイルリサーチ)、三浦光通、高橋 徹(環境研究センター)
S5-3	磁気分離による土壌からの重金属の除去	○中澤 廣、晴山 渉(岩手大学)、常松 哲(イーエス総合研究所)
S5-4	鉛の含有量基準超過土壌に対するオンサイト土壌洗浄工法の適用事例	○舟川 将史(竹中工務店)、鶴窪 誠司、井上 博文、大内 研、藤田 豊彦、(竹中土木)、矢部 誠一(竹中工務店)
S5-5	土壌溶出試験濃度に及ぼす粒子状物質の影響	○馬 寅、米田 稔、中山 亜紀、片岡 利仁(京都大学)
S5-6	わが国のリスク評価の対象とする曝露経路選定について	○佐々木 哲男、菱川 絢子、リスク評価活用方法検討部会(土壌環境センター)
S5-7	ダイレクトセンシング技術の評価と精度向上へのアプローチ	○佐藤 秀之(ランドコンシェルジュ)、Tom Christy、Dan Pipp(Geoprobe Systems)
S5-8	植物油を主成分とする栄養剤を用いた嫌気性バイオレメディエーションによる地下水浄化対策事例	○大谷 高広、奥津 徳也、石田 浩昭(栗田工業)
S5-9	バイオスティミュレーション法におけるクロロエチレンの現状と分解特性について	○安藤 卓也、鈴木 圭一、村澤 浩一郎、伊藤 善孝(パナソニック環境エンジニアリング)
S5-10	嫌気バイオレメディエーションの薬剤注入に与える影響因子について	○飯塚 麻美子、松浦 健一、日野 成雄(DOWAエコシステム)
S5-11	オンサイトにおける土壌ガス吸引工法及びバイオレメディエーションによるVOCの土壌・地下水浄化	○山崎 裕民、中村 通、大村 範明、上村 淳(興亜開発)、シュリハリ チャンドラガトギ、山口 重徳(エコサイクル)

S5-12	有機資材の間欠注入による揮発性有機塩素化合物の挙動	○伊藤 雅子、太田 綾子、高畑 陽(大成建設)
S5-13	加熱土壌ガス吸引法によるVOCs地下水汚染サイトの浄化事例	○佐藤 幸孝、伊藤 久敏、馬場 宇久、手塚 裕樹(アジア航測)、小幡博志、赤神元英(日本国土開発)
S5-14	携帯型GCを用いたVOC成分の現場迅速分析	○瀬瀬 敏幸、栗田 典彦(富士通クオリティ・ラボ・環境センター)、鈴木 亮(ドリコ)、中丸 純平(日本ガス機器検査協会)
S5-15	油汚染土壌と地下水イオン濃度との関係	○岡村 和夫、田崎 雅晴、マーク 末吉(清水建設)
S5-16	界面活性剤を用いた石油汚染地盤の原位置洗浄技術に関する検討(その4) 軽油地盤汚染を想定した実大土槽試験での性能評価	○岡田 正明、仲沢 武志、磯村 渉、塩尻 大輔、野口 俊太郎、近藤 敏仁(フジタ)
S5-17	エステル類含有土壌への微生物浄化技術の適用性検討	○大西 健司、大島 義徳、石川 洋二(大林組)、桐山 久、岡嶋 正志、安井 利尚(東邦ガス)
S5-18	ファイトレメディエーションによる工場跡地油汚染土壌浄化の実施状況	○海見 悦子、鎌田 茂樹(中外テクノス)、玉置 雅彦(明治大学)、岸 正博、山崎 直人(AGCエンジニアリング)
S5-19	化学酸化剤の噴射攪拌による検討	○井山 浩、西本 勝宣、宮田 秀一、戸成 博(NIPPO)
S5-20	石油汚染土壌のバイオレメディエーションにおける利用微生物の挙動特性	○佐々木 静郎、門倉 伸行、土路生 修三、村上 順也(熊谷組)、松宮 芳樹、久保 幹(立命館大学)
S5-21	過熱蒸気を利用したダイオキシン類汚染底質の浄化技術	○百代 淳一、前田 定範、市川 功治(大旺新洋)、石渡 寛之、万代 智也(西松建設)
S5-22	硫化鉄鉱を用いた残留性有機塩素系化合物の脱塩素化反応	○原 淳子(産業技術総合研究所)
S5-23	廃棄物サイトにおける埋設範囲の特定調査 ～マルチガスモニタと物理探査の併用～	○上野 修一郎、小菅 誠一、渡辺 綾子(ドリコ)、中丸 純平(日本ガス機器検査協会)
S5-24	硫黄カルシウム材を用いた透過性浄化壁窒素除去性能の評価(2)	○李 盛源、南 芳貴、服部 雄太、田瀬 則雄(筑波大学)、福永 和久(新日鉄エンジニアリング)、聖生 守雄(日鉄環境エンジニアリング)
S5-25	ブラウンフィールドの発生メカニズムと抑制政策	○織田澤 利守、中谷 雄一郎(東北大学)、保高 徹生(国際環境ソリューションズ)
S5-26	地盤内の物質・熱輸送係数の統合的予測式を用いた処分場最終覆土層内のガス・熱輸送解析	○濱本 昌一郎、川本 健、小松 登志子(埼玉大学)、Per Moldrup(オルボー大学)
S5-27	「分析業務」および「土壌汚染対策工事における大気環境測定」に関する現状と課題	○加洲 教雄、平田 桂(土壌環境センター 実態把握調査部会 分析業務ワーキンググループ)、日笠山 徹巳、糸賀 浩之、(同 大気環境測定ワーキンググループ)
S5-28	カドミウムおよび鉛の土壌中での吸着・脱離平衡の測定と解析	○劉 予宇、小林 剛(横浜国立大学)、浦野 真弥(環境資源システム総合研究所)、浦野 紘平(横浜国立大学)
S5-29	地下鉄建設工事における重金属を含む海成泥岩の対策事例	○門間 聖子(応用地質)、森 研一郎(仙台市交通局)
S5-30	大型カラムを用いた砒素汚染土壌洗浄効果の検討	○宮部 皓太、藤田 豊彦(竹中土木)、山崎 祐二、奥田 信康(竹中工務店)
S6	講演題目	発表者・共同執筆者
S6-1	土壌中の重金属浄化を目的としたマリーゴールドによる新品種の開発	○松川 一宏、村井 寧、小澤 真健、親泊 元哉、難波 良平(小泉)
S6-2	オンサイト措置普及のための調査結果について	○入野 智樹、飯野 浩成、吉原 昌宏、根岸 昌範、中間 哲志、土肥 久人(土壌環境センター オンサイト措置普及検討部会)
S6-3	迅速分析法による自然由来の重金属分析事例	○熱田 真一、稲垣 静枝、三原 洋一、山田 理映子、糸永 眞吾(大成基礎設計)・
S6-4	DRC-ICP-MSによる環境試料中の重金属類の分析について	○小川 泰正、山崎 慎一、土屋 範芳、井上 千弘(東北大学)
S6-5	破碎のしやすさを考慮してある一定の方法で破碎した岩石試料からの自然由来重金属の溶出特性	○片山 真理子、勝見 武、乾 徹、出島 茜(京都大学)

S6-6	分子レベル炭素安定同位体比分析を用いた揮発性有機塩素化合物の地下水における自然減衰の定量的評価	○齋藤 健志(筑波大学)、川辺 能成(産業技術総合研究所)、西塚 一茂(慶應義塾大学先端生命科学研究所)、辻 浩子、大岩 敏男(山形県環境科学研究センター)、駒井 武(産業技術総合研究所)
S6-7	オゾン酸化法によるVOCs汚染地下水の浄化効果の検証	○日野 成雄(DOWAエコシステム)
S6-8	過硫酸塩を用いたVOCs汚染の原位置浄化事例	○田熊 康秀、阿部 直人(環境テクノ)
S6-9	VOCs汚染地盤の原位置嫌気バイオ浄化用徐放性栄養材の開発	○緒方 浩基(大林組)、浅見 政彦(東洋インキ製造)、漆原 知則、宮崎 隆洋(大林組)
S6-10	微生物処理における栄養剤の検討	○稲田 ゆかり、藤城 春雄、宮永 誠、田澤 龍三(清水建設)
S6-11	嫌気性バイオレメディエーション法による塩化ビニルモノマー汚染地下水の浄化効果	○塩谷 剛、上野 俊洋、石田 浩昭、橋本 正憲(栗田工業)
S6-12	太陽光と廃棄物中の有機酸を利用したVOC分解処理法の開発	○ラビヤ ママツト、晴山 渉、中澤 廣(岩手大学)
S6-13	汚染土壌処理施設の管理手法	○山崎 直人、岸 正博、深見 靖治(AGCエンジニアリング)、橋本 耕作(日本国土開発)
S6-14	室内試験におけるベンゼン分解のバイオレメディエーションについて	○山口 重徳、シュリハリ チャンドラガトギ(エコサイクル)、西田 憲一(三重県)、巽 正志(三重県保健環境研究所)、堀井 安雄、矢原 正泰(クボタ環境サービス)
S6-15	高圧ジェット水を用いた変圧器絶縁油汚染土壌の洗浄	○佐藤 博、小林 治男、矢野 康明(東京電力)、木村 應志(東電設計)、山口 修一(間組)、藤井 忠広(土壌環境プロセス研究所)
S6-16	土壌中に棲息する微生物群によるガソリンの減衰挙動	○川辺 能成、西脇 淳子、坂本 靖英、駒井 武(産業技術総合研究所)
S6-17	PCB汚染土壌の脱塩素無害化処理に関する研究	○根岸 昌範、伊藤 豊(大成建設)、鈴木 健二(エーアイティ)、中島 秀也、樋口 雄一(大成建設)
S6-18	多摩丘陵の湧水・遊水池	○渡辺 正子(環境技術士・環境計量士)
S6-19	シアン汚染土壌の洗浄処理法適用性に関する検討	○伊藤 豊、松尾 寿峰(大成建設)、桐山 久、岡嶋 正志(東邦ガス)、高畑 陽(大成建設)
S6-20	イギリスにおける土地活用のための土壌汚染の評価・浄化の取り組み	○立野久美、中島 誠(国際環境ソリューションズ)
S6-21	土壌汚染調査・対策におけるCO ₂ 排出量の把握	○亀谷 美智康、佐藤 秀之、大村 啓介、小関 喜憲、宮城 盛(土壌環境センター CO2排出量検討部会)
S6-22	油含有地盤における微生物の深度分布	○打木 弘一、細谷 貴、野田 典広、宋 徳君(基礎地盤コンサルタンツ)
S6-23	VOCs汚染と浄化対策技術 その1:各種浄化対策技術の比較検討	○張 銘、駒井 武、竹内 美緒(産業技術総合研究所)、吉川 美穂(ケミカルグラウト)
S6-24	VOCs汚染と浄化対策技術 その2:嫌気性脱塩素細菌を利用したバイオレメディエーションの現状と課題	○竹内 美緒、張 銘(産業技術総合研究所)、吉川 美穂(ケミカルグラウト)、駒井 武(産業技術総合研究所)
S6-25	VOCs汚染と浄化対策技術 その3:溶存水素拡散試験技術の開発	○吉川 美穂、上沢 進、和田 忠輔(ケミカルグラウト)、張 銘、竹内 美緒、駒井 武(産業技術総合研究所)

特別講演プログラム

6月17日（木）

特別講演 1

「土壌汚染対策法の改正について」

環境省 水・大気環境局 土壌環境課長
笠井 俊彦 氏

6月18日（金）

特別講演 2

「岩手・青森県境廃棄物不法投棄現場における土壌汚染の現状と対策」

岩手大学大学院工学研究科 教授
中 澤 廣 氏

特別講演 3

「地圏環境インフォマティクスと土壌環境情報」

東北大学大学院環境科学研究科 教授
土屋 範芳 氏

併設企業展

ブース No	分類	会社名	展示内容
C-1	簡易分析機器	柴田科学株式会社	・土壌中炭化水素簡易分析器Petro FLAG ・ハンディ水質計アクアブシリーズ ・簡易水質検査キット シンプルパックシリーズ
C-2	労働安全衛生関係	(株)重松製作所	地下水、土壌汚染等の各種汚染物質対応の労働安全衛生保護具
C-3	簡易分析機器	(株)共立理化学研究所	新製品 パックテスト鉛セット、全シアン(低濃度)セット パックテスト、デジタルパックテスト、デジタルパックテスト・マルチ、全シアン検定器等 水質の簡易分析製品
C-4	バイオ資材	国際環境ソリューションズ(株)	・VOC及び油類浄化用栄養剤(K.O.シリーズ) ・浄化事例
C-5	バイオ資材	米国Terra Systems, 米国MECx, 米国Pacific Rim Services社 (Remediation Partners)	1. 原位置及び地上での化学的酸化による迅速な浄化 2. 乳化大豆油を使ったバイオレメディエーション 3. 化学的酸化とバイオレメディエーションの複合浄化
C-6	バイオ資材	ADEKA総合設備(株)	揮発性有機塩素系化合物の微生物浄化用、微生物活性剤アデカジオメイトBIOシリーズ
C-7	バイオ資材	パナソニック環境エンジニアリング(株)	・天然素材栄養剤(アムテクリーンP、アムテクリーンE) ・浄化事例
C-8	バイオ資材	(株)ランドコンシェルジュ	徐放性酸素供給剤 徐放性水素供給剤 酸化剤、デハロ菌の存在確認
C-9	バイオ資材	荏原工業洗浄(株)	「原位置土壌還元法」と揮発性有機化合物浄化薬剤「エバドカン」
C-10	バイオ資材	DOWAエコシステム(株)	嫌気性微生物活性剤(バイオエンゼル)の展示と浄化事例 「バイオエンゼル」のサンプル展示・サンプル配布